



# いしまご便り

屋号

**いしまご**  
いしまご

明治34年 初代 孫一から

おかげさまで 創業115年



北海道神社廳 札幌支部長 山口貴生様より  
感謝状を頂戴致しました。



御神輿、太鼓などの活動が盛んな新川皇大神社

## 小林石材 今昔物語 ～北海道内に残した小林石材の足跡～

来年、平成30年(2018年)に「北海道」と命名されてから150年目の節目を迎えます。北海道の歴史と共に歩んだ小林石材の足跡を今昔を交えてご紹介いたします。

今回ご紹介するのは新川皇大神社《諸願十二支像》です。平成26年(2014年)に御鎮座110年の記念に社殿前の手水舎の横に建立され制作協力をいたしました。

新川皇大神社では平成25年11月に伊勢神宮で式年遷宮奉祝神輿渡御、北響太鼓奉納を完遂しました。また、平成27年10月には出雲大社平成の大遷宮神輿渡御、北響太鼓奉納を完遂しました。平成28年9月の新川皇大神社大祭には出雲大社第84代国造千家尊祐宮司様 御参列を賜り斎行されました。今年の秋季例大祭は9月22日が宵宮祭、9月23日が例大祭です。

◆新川皇大神社：札幌市北区新川3条13丁目3番12号 TEL：011-765-7880



# お墓の相談室



Q：墓地（墓所）の区画を購入すると固定資産税が必要ですか？

A：固定資産税は課税されません。

墓地の区画の土地はその墓地を管理しているお寺などが所有しています。墓地の区画の場合は所有権ではなく、使用権を購入しているのです。その為、固定資産税を支払う必要はありません。

Q：墓地（墓所）の管理料とは何ですか？

A：墓地、霊園内を管理するための費用のことです。

墓地、霊園内の共有部分（通路・駐車場・施設）の維持管理、清掃、霊園内の水道光熱費、ごみの処理などに使われます。

Q：墓地（墓所）の管理料には種類があるのですか？

A：永代管理料、年間管理料などいくつかございます。

霊園により管理料制度が異なります。

民間霊園（宗教法人、公益法人）では様々な管理料金制度があります。年間管理料、前納管理料、管理料一括、永代管理料、有期限制度などがあります。

一方、札幌市営霊園では清掃手数料の名目で納入しますが、札幌市の墓地使用許可証の裏面には

『清掃手数料は永代ではありません。将来の物価変動その他の事情により墓地管理上必要が生じた場合は追加納付をしていただくことがあります。』と記入されております。

## ～～～安全祈願を執り行いました～～～

今年は、7月13日に弘法寺住職様の元、安全祈願を執り行いました。

安全祈願後は社員全員で昼食会と社内全体会議を行いました。

本社前にて記念撮影

毎年7月中旬にお盆、お彼岸へ向けて安全祈願を執り行っております。

工場製造部、現場施工部、営業部で意見交換を行いコミュニケーションを深めております。

事故、ケガの無い労働環境と良好な社員間の信頼関係こそがお客様への満足度を高め、商売繁盛・家内安全・無病息災へと繋がっていく絶対条件と思っております。

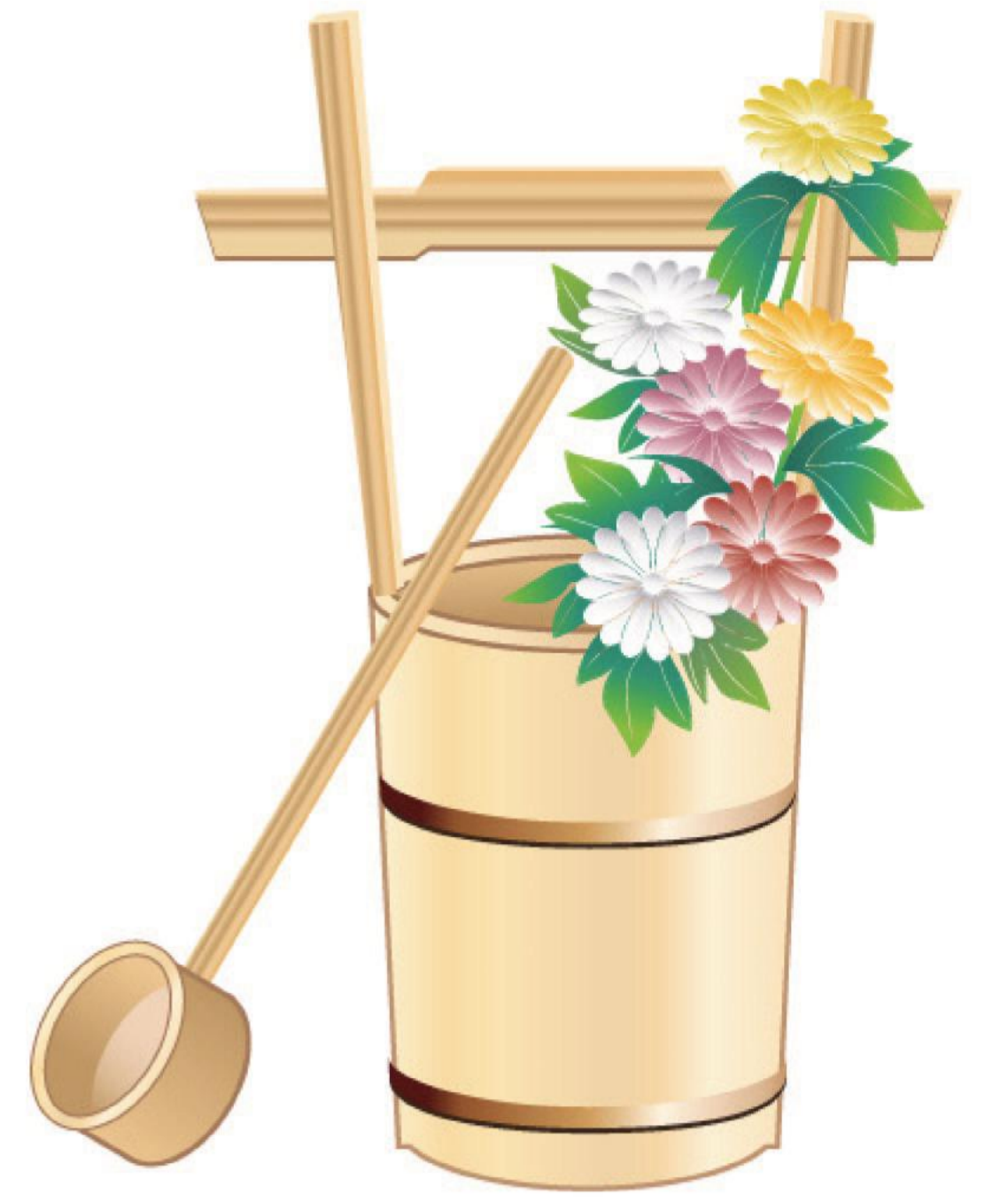






# 季節を想う（秋）

# お彼岸



暑さ寒さも彼岸まで・・・もうすぐ秋のお彼岸です。  
今回は彼岸に関することをご紹介します。

仏教においては、お彼岸の時期に真西へ沈む夕陽の向こう側にある此岸・浄土の先祖を偲び、夕陽に拝み供養する仏事です  
秋のお彼岸の中日の秋分の日には「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」という意味があり、祝日に制定されておりますが、昭和22（1947年）までは秋季皇霊祭といたしました。宮中の皇霊殿で行われる皇室の大祭のことで、歴代の天皇・皇后・皇族など、皇祖の神霊を祀る儀式が行われました。

秋のお彼岸の中日である秋分の日は日付で決まっているわけではないため、お彼岸の時期（彼岸入り・彼岸明け）も確定しているわけではありません。  
ちなみに今年の秋のお彼岸の期間は中日の秋分の日が9月23日なので、3日前の9月20日が彼岸入りで、秋分の日から3日後の9月26日が彼岸明けです。

マンジュシャゲ

右のイラストは「彼岸花」ですが、「リコリス」「曼珠沙華」とも呼ばれる花です。  
秋の彼岸の時期に咲くことから、この名がつけられました。  
赤のほか白、黄色の花を咲かせるものもあります。



花言葉は

白色：「思うはあなた一人」「また会う日を楽しみに」

赤色：「情熱」「独立」「再開」「あきらめ」「悲しい思い出」  
「思うはあなた一人」「また会う日を楽しみに」

黄色：「追想」「深い思いやりの心」「悲しい思い出」「陽気」「元気な心」

## 石屋職人のなるほど講座

石屋の職人が石のこと、石屋の仕事のことをご紹介しますコーナーです。

第3回目は『八郷御影（やさとみかげ）』の話です。

【やさとみかげ】

茨城県石岡市の加波山（かばさん）で採掘されるため、

「加波山御影石」とも呼ばれています。

八郷みかげの丁場（採掘場）は加波山のほぼ山頂付近になります。

下の丁場の画像は今年の3月30日に訪れた時の状態です。

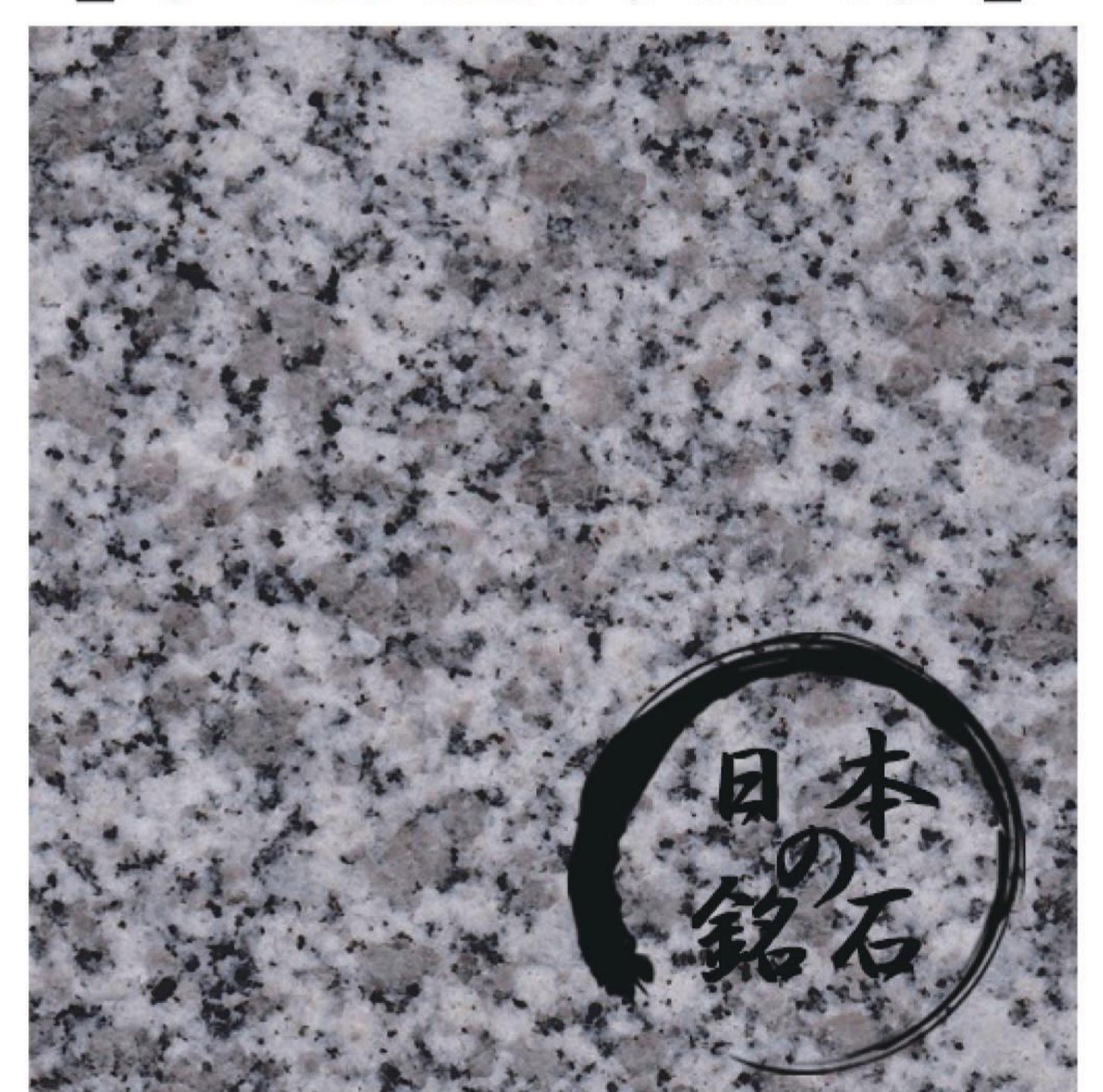
弊社では原石をこの山から調達しております。

淡い青味を帯びた色合いで、桜の花びらを散りばめたような

美しい模様が特徴です。光沢が長く保たれる性質を持ち、

白黒の石目のバランスが良く優しい感じを受ける石目の白系御影石です。

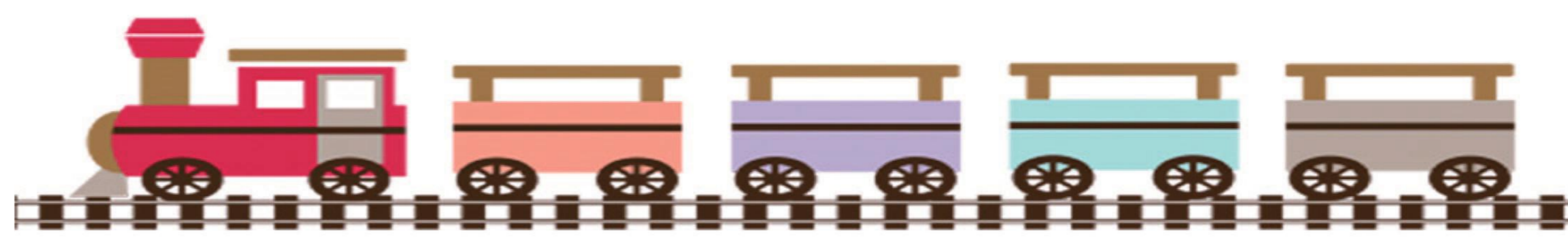
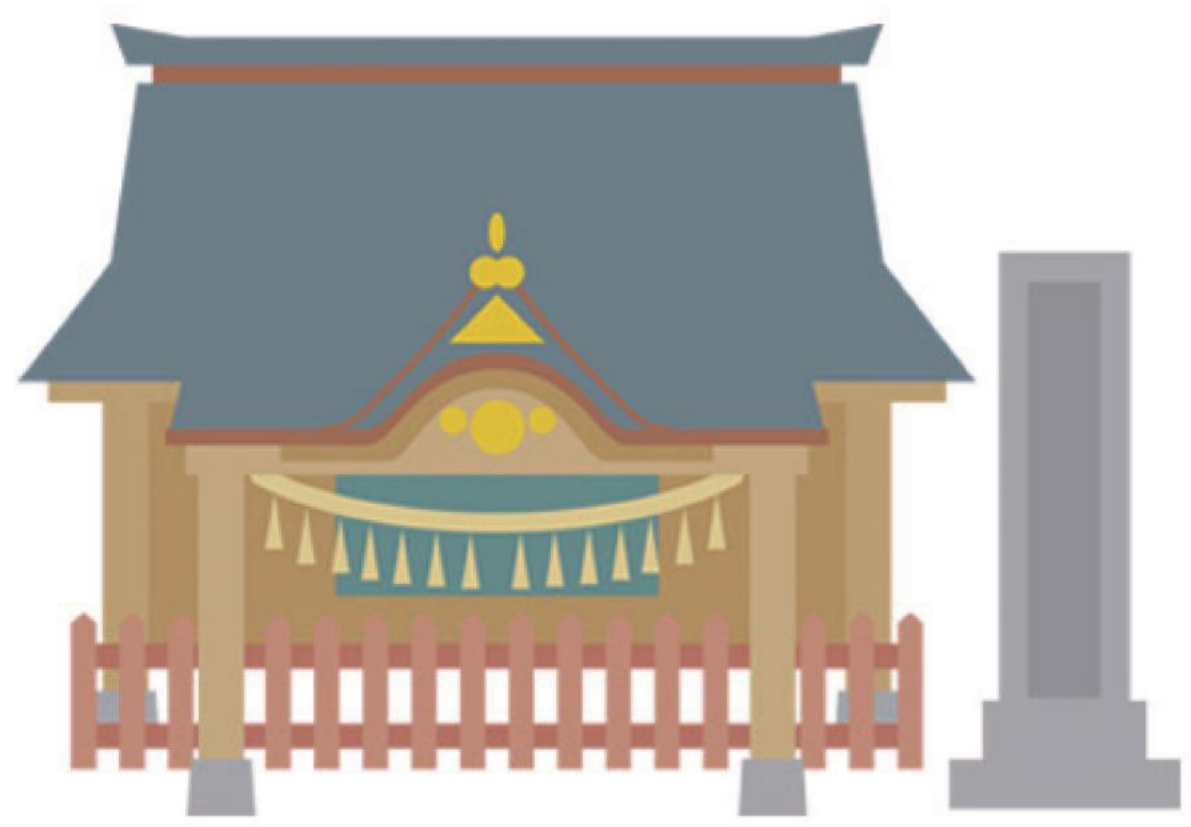
■見掛け比重 2.659 t/m<sup>3</sup> ■吸水率 0.2% ■圧縮強度 161.32 N/mm<sup>2</sup>



写真の為に色合いなどが実際と多少異なります。







# 御朱印の旅

御朱印とは？

神社やお寺を参拝した際に参拝した証しにいただく印章のことです。

もともとは参拝者が写経をお寺にを収めた際にその証として押印されたものが起源と言われています。

今回ご紹介する御朱印は島根県出雲市にある  
大国主大神（おおくにぬしのおおかみ）を  
おまつりする出雲大社（いづもおおやしろ）です。

大国主大神は「だいこくさま」と申して  
「縁結びの神さま」「福の神」慕われている神様です。  
愛情を私たちに限りなくそそいで下さる神さまです。

10月は『神無月（かんなづき）』と言われますが  
全国の八百万（やおよろず）の神々が出雲の国に  
集まるとされているからです。  
全国の他の地域には神さまが不在になるため  
「神さまのいない月＝神無月」と言われます。

一方、全国から神様の集まる出雲では  
『神在月（かみありづき）』と呼びます。  
神在月では、出雲大社に集まった神様が  
「神議（かむはかり）」という  
「すべてのものの縁を結びつける」会議を行います。

出雲大社の参拝方法は《二拝四拍手一拝》の作法で  
拝礼します。



## 編集後記

お盆中に札幌近郊の霊園を仕事で回っていると、家族揃って一生懸命お墓の掃除、  
草取りを行って綺麗なお墓にお花を飾りお参りをされるお盆の光景を目にします。  
日本人にとってお墓は重要であり、家族の集う場所であると気付かされます。  
お墓の近くの緑地でタンポポを摘んでいる微笑ましい小さなお孫さんの成長も  
お墓に眠る先祖にとって最高の喜びになっているでしょう。

9月の秋の彼岸も是非、お墓参りで先祖への感謝、近況報告を。（小林 誠）

厚生労働大臣認定 1級石材施工 加工 技能士  
厚生労働大臣認定 1級石材施工 石積み 技能士

厚生労働大臣認定 1級石材施工 石張り 技能士

創業明治34年 115年の伝統と技術

聯

株式  
會社

小林石材

☎ 0120-068-148

いしや

本社：〒004-0812 札幌市清田区美しが丘2条10丁目2-2 TEL：011-881-0172  
長沼伏古店：〒069-1311 夕張郡長沼町伏古2027-11 TEL：0123-88-3905  
長沼工場：〒069-1317 夕張郡長沼町東1線北14 TEL：0123-89-2919

安心施工・自社工場完備